

BACCALAURÉAT GÉNÉRAL

SESSION 2003

JAPONAIS

Langue vivante 1

Série L

Durée de l'épreuve : 3 heures – Coefficient : 4

L'usage de la calculatrice et du dictionnaire est interdit.

Dès que ce sujet vous est remis, assurez-vous qu'il est complet.

Ce sujet comporte 2 pages numérotées de 1 à 2

Barème de notation

| | |
|--------------------------|-----------|
| Compréhension/expression | 14 points |
| Traduction | 6 points |

TEXTE

エッチ
Hは、四年生になったというのに、一週間に一、二回も寝小便ねしょうべん(1)をしていた。その反対はんたいに、妹よしこの好子ねしょうべんは小さい時から寝小便ねしょうべんをしたことがなかった。この差は、Hには重くきつかった。

一家は、二組ふたくみに分かれて寝ていた。Hは父親よしこと、好子よしこは母親いっしょと一緒にふとんの布団ふとんで寝ていたが、寝る向きは逆さかだった。つまり、お互いたがの足を向かい合わせ、頭あたまを反対はんたいに外側がわにしていた。その寝方ねかたは、冬ふゆになった時ときコタツこたつを真ん中まんなかに挟はさんで寝ることができるので、合理的ごうりてき(2)だったのだ。Hの頭あたまは廊下側ろうかにあった。その場所は冷える季節きせつには少し寒ひにくかったが、皮肉ひにくなことにHには最適さいてきだったのだ。というのは、家の中でそこが一番便所べんじょに近い場所ばしょだったからだ。しかし、便所べんじょに近くても尿意によういを感じて起きなければ意味いみがない。夜中よなに目を覚さまして、後あとの祭りまつ(4)であることが多おほかった。 10

ある夜よる、尿意によういを感じ、ハツとして目を覚さまし、横よこに寝ている父親ちちの寝顔ねがおを見てから便所べんじょまで歩いて行った。便所べんじょの前まえで好子よしことすれ違ちがって「お兄ちゃん、目を覚さましたの？」と声をかけられた。Hは、「うん大丈夫だいじょうぶ」と答え、ハッキリ目めを覚さめているのを確かたしめてから、さあ今夜こんやはいいぞと放尿ほうによう(5)した。ところが、なんとまだ 15
布団ふとんの中なかであった。その時は、どこからどこまでが夢ゆめで、どこからが本当ほんとうなのか、判断はんぱんできないのが情なさ(6)けなかった。自分自身おのれみづかを信用しんぱいできないことが続くと、頭あたまが変かになるのではないかと心配しんぱいになった。夢ゆめの中に妹あいらわがよく出てきていたのは、Hのコンプレックスあいらわの表れかもしれない。

家では、みんなが寝小便ねしょうべんを無視むしもしないが、話題わだいにもしないように気きを使って 20
いた。例えば、たと“寝小便ねしょうべん”とは言いわず“地図ちず”と言いっていたことだ。言い出したのは好子よしこだった。彼女かのじょがまだ小学校しょうがっこうへ入いる前まえだったが、Hの濡ぬれた布団ふとんを見て、「地図ちずみたいだ」と言いった。Hはなんだかホツとして、「寝ている間に地図ちずを描かいてしまった」と笑わらった。

三年生さんねんせいの夏休みなつやすみに、叔母おばさんの家とへ泊まりとまりに行った時ときも、Hは寝小便ねしょうべんをしてし 25
まった。Hは寝る前ねるまえに呪文じゆもん(7)のように、「ここは家うちと違ちがう。従姉妹いとこの家うちだ。小便しょうべんをしたくなったらすぐさに起きよう。ここは家うちと違ちがうぞ！」と何回なんども口くちの中なかで言いって寝た。でも、朝あさ起きてみると、布団ふとんが濡ぬれていた。それを知しった時ときは動転どうてん(8)した。Hは、なんとかごまかそうと慌あわてて布団ふとんを畳たたみ押入おしいれに突つっ込んだ。その時に叔母おばさんが入いってきたので、ドキッとした。すると、「あんたはエライな。自分で布ふ 30
団たんを片付かたづけるんだ。お前まへたちも見習まなわないといけない」と子供達こどもたちに言いったので、冷汗ひやあせ(9)が流ながれた。

せのお かつば たまご
妹尾河童『少年H：地図と卵』より

Lexique

- | | |
|---|--|
| (1) 小便する : faire pipi, uriner <small>しょうべん</small> | (2) 合理的 : rationnel, logique <small>ごうりてき</small> |
| (3) 尿意 : 小便したいという気持ち <small>しょうべん</small> | (4) 後の祭りだ : il n'y a plus rien à faire ; il est trop tard <small>あとまつ</small> |
| (5) 放尿する : 小便する <small>ほうにょう</small> | (6) 情けない : se sentir honteux de <small>なさ</small> |
| (7) 呪文 : paroles (formules) magiques <small>じゅもん</small> | (8) 動転する : être bouleversé, s'affoler <small>どうてん</small> |
| (9) 冷汗 : sueur froide <small>ひやあせ</small> | |

I. Compréhension et expression écrites

A. Répondez en japonais aux questions suivantes :

- ① Hが好子に対してコンプレックスを持っているのはなぜですか。
よしこ たい
- ② 「最適」【8行目】とはどういう意味ですか。何が最適ですか。それはなぜですか。
さいてき
- ③ Hのコンプレックスは具体的にどのように表れますか。
あらわ
- ④ Hの夢と寝小便との間にどういう関係がありますか。
ゆめ ねしょうべん かんけい
- ⑤ Hの家では、Hの寝小便に対してどんな態度を取っていますか。
ねしょうべん たい たいど
- ⑥ Hの家では、寝小便を何と呼びますか。それはなぜですか。
ねしょうべん
- ⑦ Hは自分の寝小便をどう思っているのですか。
ねしょうべん
- ⑧ 叔母の家に行った時、Hは寝小便をしないように何をしましたか。
おば ねしょうべん
- ⑨ 叔母の家で朝起きてみると、布団が濡れていたのを見てHは何をしましたか。
おば ふとん ぬ
- ⑩ 叔母はそれを見て、どう反応しましたか。また、Hが冷汗を流したのはなぜだと思いますか。
おば はんのう ひやあせ

B. Traitez l'un des deux sujets suivants en japonais (400 signes) :

- ① 母がHの寝小便をやめさせる方法を見つけたという話の続きを想像して書いて下さい。
ねしょうべん そうぞう
- ② あなたは子供の時、良くないことをしましたか。その時のことやあなたの気持ちを書いて下さい。また、今はそれをどう思いますか。

II. Traduction

Traduisez en français les deux premiers paragraphes du texte, de la ligne 1 「Hは、四年生～」, jusqu'à la ligne 11 「～ことが多かった。」.